

## 20. 日本医科大学医学部（私立） Nippon Medical School

<http://college.nms.ac.jp/>

〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5

電話03-3822-2131

FAX03-3824-7712

教養課程

〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町2-297-2

電話044-733-3394

FAX044-722-1231

専門・教養課程所在地間の最寄交通機関による所要時間 約60分

### 1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

1) 学則上は一般教育（教養）と専門教育とを区別せず、6年一貫教育である。

2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみで行われる。

3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は2年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）と専門教育とで常に合同で開催される。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されていない。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物をシラバスという。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらず、すべて1年生に入学する。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは4日間行うが合宿ではない。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1年生である。

その期間と内容：1年生：6日間：臨床看護業務実習

その期間と内容：1年生：18日間：医学入門

その期間と内容：1年生：18日間：発生と再生医学

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。コアタイムの時間は

1年生は、平均して週2.5時間×年間24回である。

4年生は、平均して週8時間×年間36回である。

自習用に割り当てられている時間は

1年生は、平均して週1時間×年間24回である。

4年生は、平均して週4時間×年間36回である。

チューターは主として基礎医学系と臨床医学系の教員が行う。

チューター養成のための特別な勉強会や講習会はない。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムを多くの部分で採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、平成19年に行われ、それにはモデル・コア・カリキュラムを参考にして、独自のカリキュラムを構築している。

「コア」以外のelectiveないしadvanced部分のカリキュラムの特色は下記のとおりである。

1年生へのチュートリアル教育の導入

行われていない。なお、現行カリキュラムの特色は下記のとおりである。

基礎科学は選択科目を多く開講している 基礎医学は講座単位の講義及び実習 臨床医学は臓器別統合カリキュラム

- K. 今後のカリキュラム改訂は今のところ予定していない。  
L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

基礎医学の統合カリキュラム化を検討
-------------------

## 2. 選択制について

専門教科について選択制を採用してはいない

## 3. 一般教育（教養）について

- B. 他大学との単位互換について認めていない。  
C. 医学部以外の大学に伺います。  
一般教育（教養）の教員の所属はほとんどが自大学の所属である。  
D. 一般教育（教養）部門では一部が選択科目で、それは一般教育（教養）の約84%である。  
E. 平成19年新入生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生の数は調査していないのでわからない。  
「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業をしている。  
F. 平成19年新入生にはセンター試験が導入されてはいない。

## 4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、  
全員が3年生の時に平均して1週3時間×24週間配属される。

## 5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。  
（32日間）  
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入している。  
B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）  
5年の時、1週33時間で、40週間である。  
6年の時、1週33時間で、9週間である。  
C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。  
D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）  
で臨床実習を行っている。  
その期間は全部で8週で、そこで行う実習科目は（学生の希望する科）である。  
この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。  
E. クリニカルクラークシップは内科や外科などの主な臨床実習実施科で導入している。  
F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の  
範囲、評価法が記載されている。  
G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。  
臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。  
そして不合格の場合は、不合格科目のみ再度臨床実習を行う。  
H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については  
保険制度に加入している。  
ワクチン接種を行っている。

## 6. 学生の海外における実習について

- A. 学生の海外における実習は臨床実習のみを行う機会がある。  
期間は最長 臨床実習は8週である。

## 7. 評価について

- A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、4年終了時、5年終了時である。  
B. 成績の記録法は点数制を採用している。

C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは総合的な試験である。

時期は9月から11月まで、期間は7週間（長期休暇期間を除く）である。

D. 6年生の10月以降には、総合試験が組まれている。

また、大学による国家試験対策のための特別な講義が行われることはない。

E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、学生である。

自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。

その評価結果は昇進などに関係しない。

F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われることはない。

## 8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

### A. 教員数（平成19年12月現在）

		教養*	基礎**	臨床***	附属研究施設	その他	合計
常勤 (有給専任)	教授	2	14	72	4		92
	准教授	14	17	78	3		112
	講師	5	26	100	4		135
	助教	1	49	499	8		557
	その他						0
	合計	22	106	749	19	0	896

非常勤 (客員・無給を含む)	教授		2	9	3		14
	准教授						0
	講師	15	20	127	4		166
	助教						0
	その他						0
	合計	15	22	136	7	0	180

\* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

\*\* 基礎は社会医学を含む。

\*\*\* 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。（簡条書きで）

・任期5年 再任可	・3年で中間評価を行う	・新規採用者に適用する
-----------	-------------	-------------

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、全員が加入している。

### 9. 学生数（平成19年12月現在）

学年	総数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人留学生	
	うち女子人数	うち女子人数					
1	100	31	0	0	1		
2	103	31	1	2	3		
3	100	33	0	0			
4	101	30	0	2	1		
5	96	29	0	0			
6	102	35	0	7			
合計	602	189	1	11	5	0	0

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数1,647名、合格者数101名、倍率16.3倍

入学者数100名、（定員100名、うち推薦入学者数0名）

入学者の状況：現役24名、1浪34名、2浪20名、その他\*22名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない

11. 平成19年（今年）の1年生以外の編入学状況

編入学者数／応募者数

2学年1／21名

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数1,775名、合格者数100名、倍率17.8倍

入学者数100名、（定員100名、うち推薦入学者数0名）

入学者の状況：現役23名、1浪43名、2浪20名、その他\*14名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

A. 編入学者数／応募者数として表示してください。

2学年0／19名

B. 編入学者地域わくについて

地域わくは無い。

今後どのように考えていますか。

必要と思わない。

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

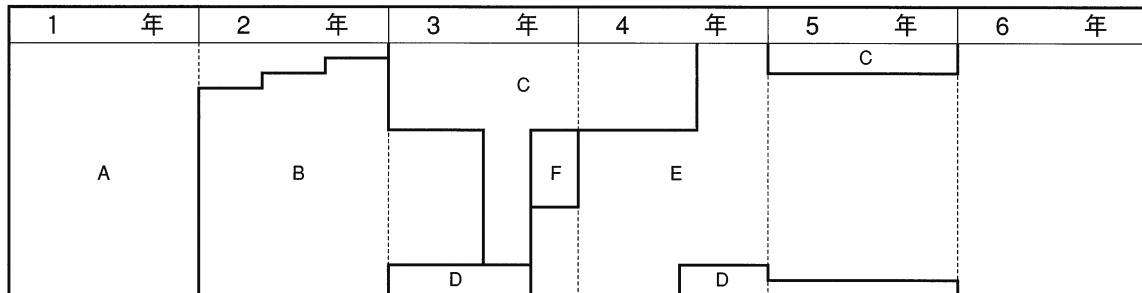
学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL／ チュートリアル
1			○	553.5	367.5	45
2			○	504	306	
3			○	660	183	
4			○	442.5	162	111
5			○		1320	
6			○		297	

（アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。）

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は5年、6年はある

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）



(註) A：教養・基礎科学

B：基礎医学（生理系）

C：基礎医学（病理系）

D：社会医学

E：臨床医学

F：基礎医学や社会医学への配属

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
解剖学	126	174	300
生理学	114	60	174
生化学	84	72	156
病理学	87	39	126
微生物学免疫学	90	36	126
衛生学公衆衛生学	60	36	96
薬理学	63	45	108
法医学	49.5	27	76.5
医事法学	18		18
基礎配属	72		72
特別講義	30		30
総合講義	18		18
○臨床医学総論	22.5		22.5
○循環器	54		54
○消化器	54		54
○呼吸器	54		54
○神経	55.5		55.5
○救急と生体管理	24		24
○放射線医学	18		18
○内分泌・代謝・栄養	24		24
○アレルギー・膠原病・免疫	21		21
○社会医学	33		33
○血液・造血器	13.5		13.5
○リハビリテーション医学	7.5		7.5
○感染症	18		18
○腎・泌尿器	36		36
○生殖と女性医学	18		18
○運動器・知覚	19.5		19.5
○周産期・成長・発達	18		18
○感覚器	36		36
○皮膚・形成・再建	25.5		25.5
○精神医学	24		24
○臨床遺伝	13.5		13.5
○臨床腫瘍	13.5		13.5
○麻酔・集中管理	24		24
○基本臨床実習		162	162
○SGL（チュートリアル）		111	111

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
臨床実習			
内科学		330	330
外科学		198	198
脳神経外科学		66	66
麻酔科学		33	33
産婦人科学		99	99
小児科学		99	99
放射線医学		33	33
精神医学		66	66
整形外科		33	33
眼科学		33	33
耳鼻咽喉科学		33	33
皮膚科学		33	33
泌尿器科学		33	33
老年医学		33	33
救急医学		66	66
集中治療学		33	33
形成外科学		33	33
リウマチ学		33	33
病理学		33	33
選択臨床実習		297	297
合 計	1438.5	2379	3817.5

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年	553.5	412.5	966
2 学年	504	306	810
3 学年	660	183	843
4 学年	442.5	273	715.5
5 学年		1320	1320
6 学年		297	297
合 計	2160	2791.5	4951.5

#### 16. その他の教育内容

独立した科目として授業が行われている科目：

医史学（選択）、人類遺伝学（臨床遺伝学）（必修）、医療福祉学（医療社会福祉学）（必修）、医療安全（必修）、医の倫理（必修）、高齢医学（必修）、臨床心理学（選択）

独立した科目として授業が行われていない科目：

医用（電子）工学、行動科学、医学外国語、緩和ケア、医療経済、医療情報学、在宅ケア・介護、プライマリ・ケア、家庭医学、臨床医学、人間関係学、医療保険

#### 18. MD-PhDコースを設置していない。